

No. 133

令和5年
9月定例会

福島県浅川町議会

あさかわ

議会だよ!

「ENJOY～今しかできない青春～Let's go!」



新しい議会構成決まる…………… 2
令和4年度一般会計決算を審議…… 4

一般質問 9人の議員が町政を問う …… 12
町民の声 (八木沼修さん) …… 24

新しい議会構成決まる

臨時議会
10月2日



住みよい町づくりを

副議長 会田 哲男

このたびの改選に当たり、私が副議長に選任され、身にあまる光栄と同時に責任の重さを感じております。副議長として、議長を補佐し、円滑な議会運営に努めます。議会と町執行部は両輪であり、互いの向上心により、町民福祉の向上に資したいと思っております。議会は町民皆様のものです。皆様の声を届け、住みよい町づくりを目指します。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。



町民の声を反映する 議会に

議長 水野 秀一

このたびの議会議員改選にあたり、不肖私が議長に選任されました。身にあまる光栄と存じます。一方責任の重大さを感じ、身の引きしまる思いです。町民の声が反映できる議会。議員各位の議論と、話し合いのできる議会運営を目指し頑張る覚悟です。本町においても人口減少をはじめ、公共施設の老朽化、福祉問題など諸問題が山積みしております。執行側と話し合い、協力し町民皆様が安心して暮らせる町づくりを目指し全力で取り組みたいと考えております。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



議席番号3番
菅野 朝興

町民ファースト。ずっと住みたい町づくりのための提案を致します。



議席番号2番
富永 勉

活力ある街づくり、信頼される議会を目指し職責を果たします。



議席番号1番
須藤 孝夫

町民に寄り添い、夢のある街づくりを。



議席番号6番
岡部 宗寿

良い事は良い、悪い事は悪いと言える議員に。



議席番号5番
木田 治喜

行政の見える化・地域の活性化・住民福祉の向上を目指します。



議席番号4番
兼子 長一

地域を守るため皆様の声を聞き、町執行とともに歩みます。



議席番号8番
上野 信直

みんなが住みよい町づくりで人口減少にストップを。



議席番号7番
須藤 浩二

すべての町民が日々笑顔で暮らせるまちづくり。

議席番号9番
副議長 会田 哲男

議席番号10番
議長 水野 秀一



(後列右より)
 須藤 孝夫
 菅野 朝興
 上野 信直
 須藤 浩二
 木田 治喜

兼子 長一
 会田 哲男
 副議長
 水野 秀一
 議長
 江田 文男
 町長
 岡部 宗寿
 富永 勉
 (前列右より)

〈文教・厚生常任委員会〉

- 委員長 兼子 宗信
 副委員長 岡上 野田
 委員 木須 藤孝 直喜 夫

★保健福祉課・住民課・建設水道課（水道関係部分）及び教育委員会に属する事務を所管します。

〈広報特別委員会〉

- 委員長 会富 永野
 副委員長 上兼 菅須
 委員 男勉 直一 興 哲 信 長 朝 孝 夫

★あさかわ議会だよりの編集・発行を行います。

〈総務・経済常任委員会〉

- 委員長 永野 朝秀
 副委員長 野野 藤田
 委員 水須 会 勉 興 一 二 男

★総務課・税務課・農政課・建設水道課（建設関係部分）・企画商工課・出納室・選挙管理委員会・監査委員及び農業委員会に属する事務及び他の委員会に属さない事務を所管します。

〈議会運営委員会〉

- 委員長 岡部 野子
 副委員長 菅兼 富永
 委員 寿興 一 勉 宗 朝 長

★議会運営全般、議会の会議規則、委員会に関する条例、議長の諮問等に関すること等について調査や審議をします。

〈石川地方生活環境施設組合議会議員〉

- 上野 信直
 須藤 浩二
 岡部 宗寿

★石川町・浅川町・古殿町・玉川村・平田村の5町村で構成し、火葬・し尿・ごみ処理に関する事務を行い、議員総数は17人で浅川町からは3人を選出します。

〈議会選出監査委員〉

- 木田 治喜

★町の財務管理や事務事業の執行が、法令に従って公正で合理的かつ効果的に行われているかをチェックします。

〈須賀川地方広域消防組合議会議員〉

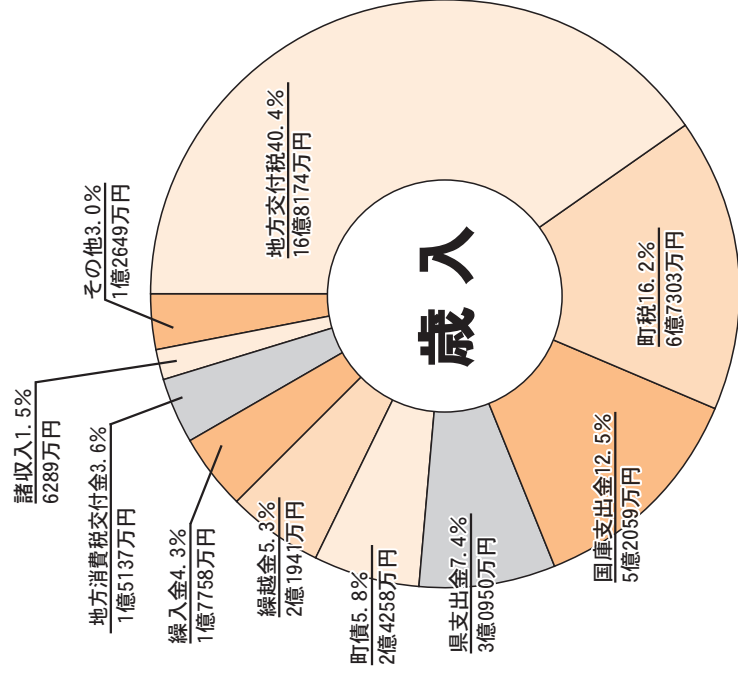
- 富永 勉

★須賀川市・石川町・浅川町・玉川村・平田村・古殿町・鏡石町・天栄村で構成し、消防本部・消防署・救急施設の設置・管理に関する事務を行います。議員総数14人で、浅川町からは議員1人を選出します。

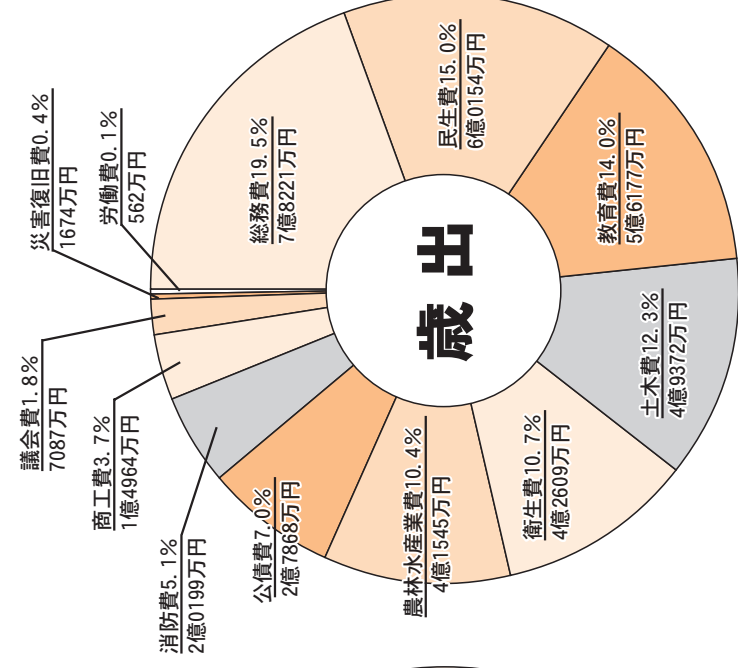
1.6億円の黒字

〔令和4年度一般会計決算〕

9月定例会は、議員選挙が控えていたため、8月24日から31日までの会期8日間で開かれました。町長が提案した決算認定など22議案は、すべて全会一致で可決しました。



歳入合計 41億6518万円



歳出合計 40億4377万円



監査報告

決算額は、歳入41億6518万円、歳出40億4377万円で、翌年度に繰り越される1962万円を差し引いた実質収支額は1億4118万円となり、財政運営の基本である黒字決算である。

また、各種財政指標に照らせば、おおむね

健全財政と考えられる。町税については収入未済額が減ったこと、全体の収納率が昨年度よりも上がったことは評価する。今後も一層の努力をお願いする。

代表監査委員
岡部まゆみ

監査委員
木田 治喜

令和4年度の主要な事業

新型コロナウイルス ワクチンを接種

新型コロナウイルス 実施しました。
予防対策として令和4 事業費 5168万円
年8月27日より接種を

浅中校舎建設 実施設計委託事業

浅川中学校校舎建設 は令和6年8月末完成
のための実施設計を作 を目指し工事中です。
成しました。校舎建設 事業費 5478万円



浅中校舎完成予想図

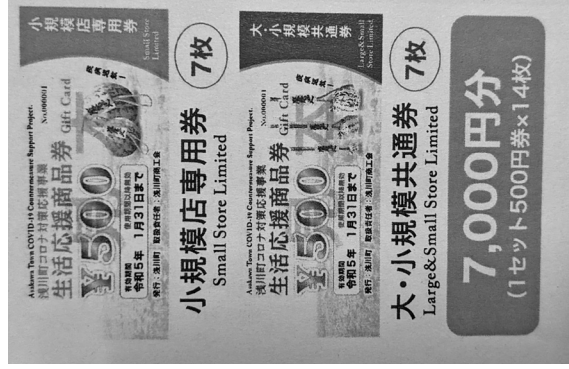
染・小貫線舗装工事

令和3年度で拡幅工
事が終了したため舗装
工事を実施し、全ての
工事が完了しました。
事業費 2175万円



生活応援商品券配布事業

新型コロナウイルス感 1人7千円分の生活応
染症の影響により落ち 援商品券を配布しまし
込んだ地元消費の拡大 た。
及び地域経済の活性化 事業費 4673万円
を図るため、全町民に

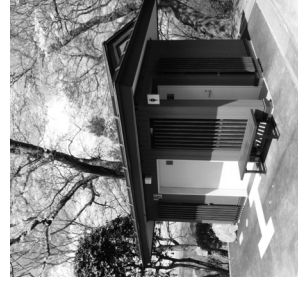


肥料・燃料高騰対策 支援金事業

肥料・燃料価格の高
騰に伴う農業経営の負
担を軽減するため認定
農業者に5万円、一般
農業者に2万円を交付
しました。
事業費 713万円

城山公園 トイレ改築 事業

老朽化した城山公園
トイレを水洗化し、車
イスでも利用できるト
イレに改築しました。
事業費 1469万円



ここが聞きたい！

歳入 41.6億円

歳出 40億円

令和4年度一般会計決算

質疑

対応は滞納者への町の対

問 ①昨年作られた浅川町町税滞納整理基本方針の概要について伺う。

②昨年の差押えの状況は。

③町県民税の徴収を県の回収チームに委託した件数と金額は。

答 ①概要としては大きく3つある。

(1)滞納を放置することなく、法令に基づき厳正に対処するという基本姿勢を全ての町税について徹底する。

(2)納期内納付、自主納付を徹底し、滞納の未然防止、早期対応で累積化の防止を図る。

(3)収納率の目標値など

を設定し収納率向上の取組を強化する。

②まず差押え前に預金調査を年3回、延べ160件ほどかけている。その中で預金残高があった2件、金額にして33万4000円、昨年差押えを実施した。

③町が県の県税部へ委託した件数は、昨年度は19名で86件、約192万3千円を委託した。回収は本税で11名、118万4千円、延滞金は6万9000円、合計124万5千円となり、収納率は、61.57%となった。

町の公用車をネットオークションした経緯は

問 公用車のネットオークションに果敢に取り組み、見事な成果を出したが、実施に至った経過について伺う。

答 オークションの話は議会で議員から出ており、それを参考に担当課でも議論した。隣の棚倉町さんも同じ方式で売却し、成果があっ

たので、浅川町も同じ形式でオークションにかけた。

問 ネットオークションの費用はどれくらいかかったのか。

答 1台当たりの落札価格に8%の手数料がかかり、それに10%の消費税が加算される。



町の座布団80歳以上夫婦へ 券にできないが、商品

問 ①町が80歳以上夫婦健在者へ座布団セットを贈呈している。町民から今の時代は、座布団ではなく商品券でお願いしたい、という

問 ふるさと納税の、経費を差し引いた実質的な収入はどれくらいだったのか伺う。

答 実質的な収入は、単純に令和4年度の寄付額から令和4年度に支出した経費を引いたものについては、寄付額の220万8千円から返礼品代81万9095円、送料15万4817円、サイト利用料2万614円を差し引い

た121万3474円となる。

返礼品については、寄付された年度に返礼品を送付するものと、翌年度以降に返礼品を送付するものがある。なので、令和5年度にこれから返礼するものの経費を差し引くと実質的な収入としては、120万円から130万円程度になるものと考えている。

ふるさと納税の実質的な収入は

問 ①ゴミ出しの日に、カラスによるゴミの散らかしが問題になる地点は、何か所あるのか。
②道路に、ゴミの投入たレジ袋が捨てられているのが目立つが対策は。
③山道付近に不法投棄

が見られる。対応、対策、見回り等はしているのか伺う。

答 ①3か所程度と認識している。
②看板やダミーカメラの設置、シルバー人材にお願いして町道のゴ

声が出ているが、検討できないか伺う。
②町内の長寿会は、26行政区のうち6地域となつている。これには、県や町からも補助金が出ている。そして、お年寄りの交流は非常に大事かと思う。町長が言う、百歳まで元気、という事にもなり、医療費の軽減にもつながるのではないかと。町が入つて連合会や長寿会

を増やしていくような指導ができないか伺う。

答 ①検討しなければならぬと考えている。
②今、長寿会は、6団体しかない。今の80歳90歳の方々は本当に若い人が多い。本当に健康で100歳まで元気でやっていただけるように、交流が必要かと思う。様々な面で検討

カラスによるゴミの散 対しての対応は

問 ①カラスによるゴミの散らかしの対策として、ネットに竹、篠で加工した手製の覆いを作つてかぶせ、完全になくなったところ

ミ拾い等を実施している。
③一般廃棄物の不法投棄については、町の方で巡回している。産業廃棄物については、県から委託された指導員が巡回している。あとは、行政区長さんや、地域住民の方からの通報時に出向いて確認している。

がある。参考にしては、
②道路へのゴミの投入たレジ袋のポイ捨ては、内容物を調べて個人を特定できるのではないかと。

答 ①確かにそのゴミステーションについては、環境美化指導員の工夫により被害が激減した。参考にしたい。
②昨年、ポイ捨てのゴミ袋の中に、個人を特定できるものが入っている事があった。近隣町村の方だったが、行政間を通じて注意して頂いた。



竹で工夫したゴミステーション
(大明塚地内)

来て「あさかわ」住宅 取得支援事業の概要は

問 来て「あさかわ」住宅支援事業で、4件の該当があつてよかったと思うが、その概要について伺う。

答 実績の内訳につい

ては、令和4年度は4件で、4件とも若者夫婦または子育て世帯となっている。

転入者は12名となっており、4件全てが県内の近隣の市や町から

ふくしま森林再生計画 い事業ではないが、

問 ふくしま森林再生事業として毎年何千万円もかけて森林を伐採をしている。だが、後に植林をしたという話は、聞いた事がない。これでは、森林を再生する事になっていないのではないか。

答 この事業については、間伐や森林作業道の整備、放射能の汚染物質、落ち葉や表土等の除去という事業になっている。植林は対象になっていない。だが、このままではいけないので、県に植林や森林計画を要望して行きたい。

来て「あさかわ」住宅取得支援事業 生活サポート

Live in Asakawa 移住・定住を応援します！

県外から 最大 210万円
移住の場合
町外から 最大 100万円
移住の場合
※予算額に達した場合は、早期に受付を終了することがあります。

花火の里 ニュータウン 好評分譲中

移住支援金について
須川町では、県外から須川町への移住を支援するため、移住支援金を交付します。
・移住支援金の額は、
・移住支援金の額は、
・移住支援金の額は、
・移住支援金の額は、

移動支援 職工と連携しサポート
須川町では、県外職工と連携して、町内で就業を希望する方へのサポートをしております。
・就業希望者の募集、
・就業希望者の募集、
・就業希望者の募集、
・就業希望者の募集、

Live in Asakawa 子育て支援

子ども医療費無料
18歳に達する日曜日の最初の9月31日までが実施されます。

産後ケア事業
産後、体調の回復や育児に関する不安、他地域の自治体から子育て中のママを支援するためのサポートを実施しております。

子育て支援ナビ「はらららん」
須川町では、令和2年8月3日より子育て支援ナビ（母子も）「はらららん」のアプリを必要情報を入力することで、須川町民の生活サポートに活用しております。

児童クラブ
児童クラブは、児童が安心して遊べる場所を提供し、地域の活性化に貢献しております。

出産子育て応援ギフト
第1子、第2子 5万円
第3子 10万円
第4子 10万円
第5子 30万円
が支給されます。

の移住となっている。新築の住宅が3件、中古住宅が1件となっている。

問 新たに12名が移住をしてきてくれて、本

当によかったと思う。何か際立った取組をしたのか。

答 取組については、主に町のホームページでのPRとなっている。

採決

全会一致で認定しました。

討論

賛成討論

角田議員 令和4年度は、老朽化が進んだ浅川中学校を安全な学校に新築するための実施設計が作られた。また、長年の懸案事項であった染小貫線の道路の改良工事も完成した。町の負担を軽くする辺地債の制度を発掘、活用した事に敬意を表したい。

さらに重度心身障害者の医療とひとり親家庭の医療費の現物給付が実現し、高齢者のタクシー助成も増額された。

総じて、福祉や教育は後退させないと、町民の暮らしを守るという予算執行だったと判断し、本決算認定に賛成する。

― 特別会計決算審議 ―

国民健康保険特別会計

問 ジェネリック医薬品の勸奨の取り組みと利用状況の推移はどうか。

答 使っていない方に年4回切替えの勸奨通知を出し、差額を知らせ、希望シールを同封し、令和4年度は277件通知した。利用は、令和4年80.3%で年々微増している。

問 国民健康保険税の不納欠損の件数と主な理由はなにか。

答 不納欠損の件数は21名。主な理由は死亡差押えをしたが処分しきれずに時刻を迎えてしまった、納付していても欠損額に満たず時

効が来てしまったとなっている。

問 短期保険証の発行件数と短期保険証納税相談による納税の効果の状況はどうか。

答 交付世帯は33世帯で被保険者数は64名。納税相談により世帯状況や健康状態が把握でき、無理のない分納額を算出できる。また、相談内容により、ほかの相談窓口を紹介するなど支援の糸口へつながっている。

【採決】

全会一致で認定しました。

介護保険特別会計

問 サロンの活動がコロナ禍で止まったという状況もあると思うが、現在の状況はどうか。

答 コロナの影響はほとんどなく確実に利用が増え、現在23ヶ所のサロンがある。登録者は293名。昨年の延べ回数は299回、全体で延べ参加者1949人。包括支援センターでは高齢者が身近な場所で気軽に集まって交流する居場所づくりを推進している。

問 特別養護老人ホームさぎそらの待機者数、うち浅川町民の待機者数、そして増床の見通しはどうか。

答 待機者は全体で54人、浅川町民の方は26人。さぎそらの増床の見通しはなく、平田よもぎ荘で令和7年度18増床の計画である。

【採決】

全会一致で認定しました。



保健センターでの健康増進講演会

上水道事業会計

問 上水道の水量は足りて断水はなかったが、濁り水の発生はどうか。また漏水は減らせたのか。

答 必要な水量は、水源の深井戸や浄水場の適正管理に努め、水不足や断水することもなかった。濁り水の原因となる、浄水過程の異常は長年起きていない。工事等での断水復旧通水時、火災時の消火栓使用、猛暑時の急激な

使用水量変動の場合に濁り水が見られる時がある。漏水の減少は、令和4年度中は不明な漏水量の増加により漏水調査を実施しなければならぬほどの漏水量は発生しなかった。今後はさらに老朽管の更新、漏水調査と修繕を行い、有収率向上に努めたい。

【採決】

全会一致で認定しました。





【採決】
全会一致で同意しました。

生年月日
昭和50年7月

氏名
岡田 淳一

住所
浅川町大字山白石字
宮下

住所

教育委員会委員
岡田淳一氏が令和5年11月18日をもって任期満了となるため、引き続き任命するもの。

人事



【採決】
全会一致で同意しました。

生年月日
昭和30年10月

氏名
増子 義一

住所
浅川町大字東大畑字
新町

住所

人権擁護委員
増子義一氏が令和5年12月31日をもって任期満了となるため、引き続き推薦するもの。

・最低制限価格(税込み)

指名競争入札の結果、落札業者の㈱円谷建設工業と6985万8800円の請負契約をするもの。

令和元年東日本台風の水害による浄化センター浸水被害を教訓として、L型擁壁で浄化センターの外周を囲う等、浸水予防のための工事を5年度、6年度の2年間で実施するものです。今回の請負工事はL型擁壁工延長390.5m、南側侵入道路工34.4m等が主な工事の内容です。

令和元年東日本台風の水害による浄化センター浸水被害を教訓として、L型擁壁で浄化センターの外周を囲う等、浸水予防のための工事を5年度、6年度の2年間で実施するものです。今回の請負工事はL型擁壁工延長390.5m、南側侵入道路工34.4m等が主な工事の内容です。



浅川浄化センター耐水工事の請負契約の締結を可決

【採決】
全会一致で可決しました。
(5000万円以上の工事請負契約は議会の議決が必要です)

6985万7700円

報告

※実質赤字比率
財政運営の悪化の度合いを表す指標

※連結実質赤字比率
赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを表す指標

※実質公債比率
実質的な公債費に対する財政負担の程度を示す指標

※将来負担比率
将来財政を圧迫する可能性の度合いを表す指標

令和4年度決算の財政健全化判断比率

【浅川町の健全化判断比率】 (単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	5.5 (25.0)	— (350.0)

※括弧内は浅川町における早期健全化基準です

築65年の役場庁舎 耐震診断に200万円

- 令和5年度一般会計
予算を1億4281万
円増額して43億366
0万円とするもの。
- 補正予算の主な歳出
は、次の通りです。
- 庁舎耐震診断業務委
託料 200万円
 - 物価高騰対応臨時助
成金 330万円
 - 秋のコロナワクチン
接種医師等委託料
1266万円
 - 保健事業委託料
100万円
 - 一般廃棄物最終処分
場基礎調査業務委託料
165万円
 - 農業担い手育成支援
事業補助金 200万円
 - 産地生産力強化総合
対策事業補助金
719万円
 - 漢方資材栽培米名称
募集報償費 5万円
 - 道路新設改良費設計業
務委託料 1923万円
 - 小中学校送迎用バス
安心安全対策支援事業
補助金 105万円

【質疑】

問 役場庁舎の耐震診
断は以前にやったので
はないか。今回またや
る理由は何か。

答 役場庁舎は65年を
迎える。17、8年前に



問 物価高騰助成金は、
すべての住民税非課税
世帯に6千円を支給す
るのか。

答 県の補助対象は、
高齢者のみの世帯、障
害者のいる世帯、ひと

町の公共施設は一斉に
耐震診断を行い、役場
庁舎もクリアした。し
かし、その後20年近く
経っているのを改めて
状況を確認したい。

り親世帯となっており、
380世帯ほどになる。
町では550世帯すべ
ての住民税非課税世帯
に交付する。170世
帯分は町の負担となる
が330万円を計上し
た。

問 一般廃棄物最終処
分場の候補地選定に関
し、配られた資料によ
れば令和5年度で検討
委員会を立ち上げ、こ
れから候補地の選定を
する。残りは6か月し
かない。このスケジュ
ールに無理はないのか。

答 確かに大変短いと
感じている。ただ、地
権者の合意に時間がか

問 産地生産力強化総
合対策事業は全額県の
支出金で農機具の購入
ができるというのか。

答 719万円は県の
事業で全額県からの補

かると想定しているの
で、令和5年度中に検
討委員会での候補地選
定を考えている。複数
箇所選定してもらった
中から、利便性、経済
性を評価し、優先順位
をつけて選定する。6
年度は順位が高いところ
から地権者、地域の
合意形成を図り、合意
が得られれば施設組合
に報告したい。

助である。福貴作の生
産組織のコンバイン購
入費2157万円が対
象で、最大3分の1の
719万円が補助とな
り、その予算を計上し
た。

【採決】

全会一致で可決しました。

9人の議員が質問

(通告順)

1 富永 勉 議員

- (1) 自主防災組織の整備について
- (2) 高齢者への福祉対策の充実について

2 兼子 長一 議員

- (1) 農機具マッチング事業の取り組みと農業振興について
- (2) 高齢者支援の有償ボランティア制度について

3 岡部 宗寿 議員

- (1) 我が町の空き家対策について
- (2) 我が町でも異次元の少子化対策をすべきである

4 木田 治喜 議員

- (1) スマート農業に対する町の見解について
- (2) 買い物弱者対策について

5 渡辺 幸雄 議員

- (1) 国が進める農地集積事業について
- (2) 滝の台ニュータウン販売について

6 会田 哲男 議員

- (1) 小貫、貫秀寺の即身仏拝観のための水洗トイレの設置を
- (2) 町民の多世代交流につながる新たなイベントの実施について

7 菅野 朝興 議員

- (1) 旧小学校跡地の今後の方針は
- (2) 子供たちの登下校の安心安全の強化を

8 上野 信直 議員

- (1) 現行の健康保険証の存続を国に求めるべきではないか
- (2) 地元に戻り就職する人には返還を免除する給付型奨学金の導入を
- (3) 来年は介護保険料の見直し時期だが保険料は上がるのか
- (4) ダイユエーエイト付近の国道118号の舗装改修を県に求めよ
- (5) 高齢者等タクシードライバーの充実を
- (6) 3分の1が空室となっているみのわ団地の原因と入居対策は

9 角田 勝 議員

- (1) 国民健康保険税の子どもの均等割をやめ子育て施策の充実をめざすこと
- (2) 難聴者への補聴器購入助成をしてより健康に生きられるようにすべき
- (3) 里白石荒屋郷地域の圃場整備事業について
- (4) 即身仏をより多くの人々にみてもらい、町観光と文化施策の充実をはかることについて
- (5) 町道新宿線の拡幅整備促進について
- (6) 生産費を補償する米価制度を国がつくり、農業を守る国政実現への認識と推進をはかる努力を

町政を問う

一般質問は8月25日に行われ、通告した9議員が町長等の考えを質しました。傍聴者は2人でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議員が住民の代表として行政全般にわたり町当局の考えや疑問をたずねることです。
また議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

自主防災組織を整備すべき



富永 勉議員

町民自ら地域を守る意識が重要

問 昨今、地震や台風など甚大な被害を及ぼす自然災害が頻発している。その脅威に対し減災、防災の対策が求められている。町民の安全・安心な生活環境づくりのために、地域ごとの細やかな危機管理体制の構築が重要であると考え見解を伺う。

①町民が、自らの生命と地域は自分達で守るという意識のもと、自主防災組織の整備状況と今後の見通しは。

②自主防災組織活動の充実を促進させる対策は。

③災害時における要支援者への避難対策は。

町長 ①地域防災計画上は各行政区が位置づけられており、地域住民が自発的、継続的に参加することが重要である。今後、整備を促進するために、防災の関心を持てるよう啓発や情報提供の働きかけを行っていく。

②各行政区のリーダー養成研修、防災士の資格取得等の人材育成や資機材の整備を図っていく。

③災害時避難行動要支援者名簿を作成しており、地域の民生委員や消防署、警察署と情報を共有している。また継続して細やかな個別避難計画を作成していく。

高齢者への福祉対策の充実 実は健康で一〇〇歳を目指すを 合言葉に

問 「健やかに老いる」高齢者がいつまでも健康で楽しみのもてる社会環境が必要である。そのため、生きがいのもてる高齢者講座など幅広く行政が積極的に発信していく必要があると考え見解を伺う。

①高齢者が元気にいきいきと暮らせるための健康寿命延伸対策は。

②高齢者一人暮らしや高齢者世帯への支援の充実は。

町長 ①特定健診やがん検診を実施することにより、生活習慣病の

早期発見・早期治療につながっている。総合相談窓口の地域包括支援センターにおいて介護予防として高齢者の運動教室や地域サロンづくり、運動を目的とした集まる場所づくりなどの支援をおこなっている。

②地域の民生委員やボランティア等による家庭訪問等の安否確認、社会福祉協議会による配食・会食サービス、急病や事故に対応する緊急通報システム事業、徘徊の身元を判明させる見守

りQRコード交付事業などの支援。地域で見守る目を多くし、つながりをつくるよう努めていく。



保健センターでの健康サロン

農機具マッチング事業への取り組みは

民間主体で実施が望ましい

町長 ①農機具マッチング事業は、幾つかの自治体で行われているようだが現在のところ

②現行の「人・農地プラン」に替わる地域計画策定作業の進捗状況を伺う。

①農家で使われていない農機具やハウス、農業資材などを町内の農家が再利用できる「農機具マッチング事業」に取り組む考えはあるか。

①農家で使われていない農機具やハウス、農業資材などを町内の農家が再利用できる「農機具マッチング事業」に取り組む考えはあるか。

問 新規就農者、経営規模を拡大したい担い手は農機具やハウス、資材の取得が大きな負担となっていることから伺う。

兼子長一議員



浅川町では、譲りたい、譲ってほしいなどの相談はない。各自治体においても、実施主体や方法は様々であり民間主体で実施するのが望ましいと考えている。引き続き、農協など関係機関と協議、検討していく。

②「人・農地プラン」に替わる地域計画策定作業は、9月にアンケート調査を実施し、来年度に座談会を開催してまとめたい。



有償ボランティア養成講座（保健センター）

高齢者支援の有償ボランティア制度を

11月より事業開始予定

問 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の買い物ゴミ出し、家事などを支援するための有償ボランティア制度は重要であるが浅川町の現状について伺う。

①有償ボランティア制度に向けて現在の状況は。

②ひとり暮らし高齢者世帯では、現在の指定ゴミ袋の大きさでは袋がいっぱいになるまで日数がかかるため重く臭いも発生するのでもっと小さくしてほしいとの要望があるが検討しているか。

町長 ①有償ボランティア制度の取組状況は地域住民や包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員などで組織する協議会で検討され今後は、有償ボランティア養成講座を開催しボランティアの募集登録をして、11月より事業を開始したい。

②ゴミ袋の新たなサイズの導入は、製造コストや分担金の増加も考えられるので、総合的に判断していきたい。

子育て支援策の更なる充実を



岡部宗寿議員

協議の場を設けながら対応したい

町長 ①町で国の策に加えて独自に実施することは、財政等の課題により厳しいが、他町村を参考にしながら検

③少子化対策に関する勉強会（対策協議会）発足を。

②若い世代への、10年住居による滝の台ニュータウン提供に関する以前の質問について、何か進展はしているか。

①児童手当、出産費、通学費支援の強化を。

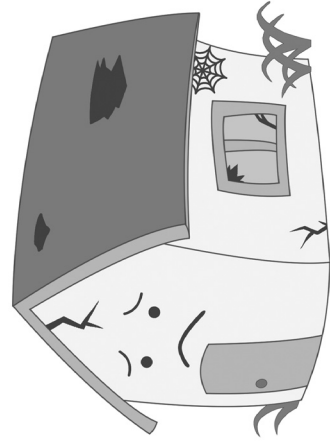
何う。

問 他の県内市町村と同様に、我が町でも少子化対策をすべきである。若い世代の定住化や子育て支援を踏まえ

討したい。通学費支援についても今後の課題と捉えている。

②年内に、販売や活用方法について地域の方々と協議したい。

③協議の場は必要と考えているが、一市町村の方だけで打破するのは難しい。様々な分野の取組、短期的・長期的な対策をすることで対策に繋がると考えている。



町の進める空き家対策は

空き家バンクなどの対策を進めていく

問 令和5年6月14日に空き家等対策の推進に関する特別措置法を改正する法律が公布されたが、町の空き家について何う。

①法改正による空き家は何軒あるのか。

②法改正により固定資産税が上げられた場合、どのくらいの増になるのか。

③空き家を管理するサポーター制度の創設や、空き家の宿泊所利用の考えはあるか。

町長 ①現在の法律に当てはまる空き家はな

いが、町で把握している空き家は145戸ある。

②法改正により定義される空き家の具体的基準が示されていないので、現在のところ具体的に算出するのは難しい。

③空き家管理サポーター制度や宿泊所などの計画はないが、空き家の利活用は重要と考えている。空き家バンク等の対策を進める。

スマート農業に対する 町の見解について

関係機関と連携しPR進める

問 農業分野は、急速に高齢化が進み年々従事者の平均年齢は上昇し、担い手不足も相まって従事者自体も減少の一途をたどっている。日本の食料需給率は近年37%と低い水準で横ばい傾向にある。このような背景から、スマート農業は積極的導入を進められているが、導入に対する町の見解を伺う。

①町農業従事者の推移は。②スマート農業の効果と問題点は。③町の農業を底上げするためのスマート農業に対する今後の取り組みや推進計画はあるか。



木田治喜議員

町長 ①農業センサスの数値で答える。2020年時点は327件、2015年は404件で5年間で77件、約19%減少。

②定義はICT活用やロボット技術を活用し、作業効率化や品質向上を実現する新たな農業とされている。効果は農作業の省力化、人件費等のコスト削減、生産性の向上等による収益改善。問題点としては機器が高価なことによる導入コストの高さ、知識の必要性、新しい取り組みのためデータの形式が統一されていない等。

③今後の町の取組みとしては、国県の方針に従って、JA等の関係機関と連携し、情報提供や現地検討会等の地域へのPRを進めていきたい。

買い物弱者対策について

夢工房への補助金は 累計4429万円

問 買い物弱者対策について我が国は人口減少や高齢化が進み、生活店舗廃止や公共交通の減便等により、買い物・医療・交通等生活に必要なインフラが弱体化している。当町も同じ状況だが、買い物弱者に有効手段の移動販売車を含めた夢工房の総合評価を伺う。

①町買い物弱者の人数は。

②夢工房への町補助金の累計は。

③移動販売車の稼働状況と課題点と評価は。

町長 ①買い物に不便や苦勞を感じている方を買い物弱者と位置づけているが、該当人数は把握していないが、相当数いると考えている。

②補助金の累計は、6年間で4429万円となる。

③利用数は約100世帯となっている。問題点は悪天候や職員の体調不良により、急に休みになること等により利用者に迷惑をかけている等の面。評価は夢工房では半熟卵加工、移動販売、店舗の3事業を行っている。高齢



者に働く場を提供し元気高齢者の増に寄与している。移動販売は買い物弱者に寄与している。買い物や話をすることに喜びを感じるとも聞いており、夢工房の存在は大きいと考える。今後の在り方は町、農協、商工会3者で協議していきたい。

農地利用に関する今後の 対策は



渡辺幸雄議員

計画などの方向性を定めている

問 農家の高齢化が進み、諸事情により農作業委託ができない農家もある。益々荒廃農地が増えてくると思う。対策を伺う。

①現在、遊休農地として草刈作業等で保全しているが、作業が困難になれば2、3年で農地は荒廃する。町として、今後どのような対策を進めるのか。

②農業委員会で毎年調査している意向調査で農地を貸したいという農家は何軒くらいあるのか。

町長 ①農地の利用をしやすいするための計画の策定を進めている。今後、アンケートにより農地所有者の意向を聞き取り、集落座談会の上、利用方法を見つけていきたい。

②農業委員会が毎年行っている調査では、500軒程度のうち、1000軒程度について、農地を貸したいという意向が確認されている。



滝の台ニュータウンの 町の販売促進策は

話し合いの場を設けて協議 したい

問 ここ数年で新築住宅が建てられているが、残りの分譲地の販売をどのように進めるのか伺う。

①町長は、コロナ禍が終息すれば地域住民と協議したいと言っていたが、協議は行ったのか。

②現在の販売価格では町内に比べ単価が高く、建売住宅を求める若い世代が増えている。価格を下げて販売すれば、定住移住の点で将来的にもプラスになるのでは。

町長 ①ニュータウンは移住・定住を推進する上で欠かせない資源である。年内に地域の人と話し合いの場を設けて協議したい。

②ここ数年、新しい住宅が何十件と建っている。なぜニュータウンが買われないのかということや、販売価格を含めた販売の方法についても、その話し合いの中で協議し、結論を出せるように進めていきたい。

貫秀寺の即身仏拝観のため 水洗トイレの設置を

要望あれば保存会と協議したい

問 全国の即身仏は20数体あるが、人々の疫病治癒祈願で業師入定した例は国内に無い。また福島県では唯一の即身仏だ。国立科学博物館等、全国各地を巡回し知名度は格段に上がった。即身仏は町の財産であり、重要かつ貴重な観光資源だ。特別展と巡回効果により拝観者も年間400人以上と聞くが、トイレが無く拝観者は近隣家庭のトイレを借りる状況にある。町の重要な観光資源と再認識し、浅川町の更なるイメージアップと観光力増のため、水洗トイレの設置を強く要望する。



会田哲男議員



町長 現時点では町としてのトイレの設置は考えていない。即身仏の管理は小貞の保存会が行っているので、水洗トイレの設置についてはその管理体制も含め、今後保存会と協議していきたいと考えている。

町民の多世代交流につながるイベントの実施を

町民全体参加のイベントは今後の大きな課題と考える

問 人生100年と言われ、また少子化、人口減少の今こそ高齢層・若年層が楽しく過ごし、多世代間が交流できる新たなイベントを企画・実施すべきだ。例えば、町の名所を巡るとか、コース、距離を勘案したウォーキング大会等を新たに実施し、子どもには町の良さを知り、大人には町の再認識に繋がる、老若男女が広く参加でき、楽しく町民間の交流が図られるものを新たに実施すべきと思うが。

町長 多世代交流事業は、図書館を多世代交流の拠点施設として位置付けており、図書館において様々な教室を実施している。新たなイベントは地域の盛り上がりを考えると、民間や各種団体が主体となり町がそれをサポートする形が望ましいと考えるが、新たなイベントは今後の大きな課題と考えている。町民全体が参加できるようなイベントは、今後担当課と協議していきたい。

旧小学校跡地の今後の方針は



菅野朝興議員

解体も視野に入れて考えたい

問 旧小学校跡地については、利用者を探している状態が続いている。耐用年数も近づいており利用にも制限が出てくるかと思う。何点か伺う。

①旧山小・里小の校舎は、あと何年使用できるのか。取り壊しまでどのように管理しているのか。

②校舎の取り壊しの時期は、いつと考えているのか。取り壊しの予算の計算などはしているのか。

③校舎取り壊し後の利用計画はあるのか。

町長 ①両校は、鉄筋コンクリートの校舎で、財務省令によると、法定耐用年数は47年と定められている。旧山小校舎は、築48年が経過しており、おおむね法定耐用年数を迎えている。

②現時点の取り壊しの時期は白紙で、予算の計算もしていない。廃校となり5年が経過しており、解体も視野にいれつつ今後の道筋を考えて行きたい。

③旧里小の土地の一部には民地があり、この問題を解決してからと考えている。更地での利用計画は、時期尚早と認識している。



問 近年、浅川町にも不審者の目撃情報が寄せられている。親御さんたちは、今の体制で

は、子供の誘拐、連れ去りの危険が高いと感じている。夏冬休み期間中の部活の送迎もないので、登下校時に事故の心配がある。何点か伺う。

①警察の協力を得てパトカーの巡回を増やせないか。

②町内で『見守り隊』を結成し、車や自転車に大きなステッカーや幕を取り付けての放課後の巡回はできないのか。

③夏冬休み期間中の部活の安全安心な送迎バスの運行はできないのか。

教育長 ①不審者の情報が寄せられた場合は、石川警察署、浅川駐在所へ巡回の強化をお願いしている。不審者情報がない場合でも巡回をいただいている。

②見守り隊は望ましいが、PTAの方々が会社勤めなどもあり厳しい現状がある。だが、ながら見守り、というものがある。家の庭掃除をしながら、散歩をしながら、買い物をするという、日常生活の中で見守りをしていくという、取り組みをしていければと考えている。

③検討したい。

子供たちの登下校の安心安全の対応を

できる限りの対応を図っている

現行の健康保険証の存続を 国に求めよ

マイナ保険証に理解を得る取組が必要

問 ①マイナ保険証は別人の情報を紐づけてしまう誤登録が7千件以上も発生し、世論調査では来年秋に今の健康保険証を廃止してマイナ保険証に一本化することに7割の国民が反対あるいは延期を求めている。町長は国に対し、現行の保険証を存続させるよう求めるべきではないか。

②国保税の滞納者には現在、3か月の短期保険証を発行して納税相談しながら納税してもらっているが、5年間有効なマイナ保険証では納税相談もできず国保税の滞納が増えることにならないか。



上野信直議員



医療機関の読み取り機

町長 ①マイナンバーカードは本人の申請に基づいて交付されることが原則である。マイナ保険証のトラブルによる混乱をなくし、確実に保険診療が受けられるためにも国が責任をもって国民の不安をなくし、理解を得る取組みが必要だと考える。

副町長 ②国保税の滞納者の取り扱いの部分については我々も正確なところを正直把握していないというのが現状であり、何か国から情報が来ているかどうかも含めて改めて確認したい。

浅川町奨学資金に給付型 奨学金の導入を

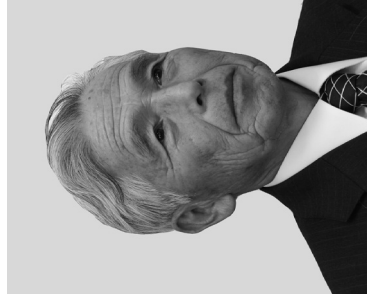
さらに借りやすくなるよう 検討したい

問 町の奨学資金に、借りた人が例えば卒業後に地元に戻って就職した場合には返還を免除するというような給付型の奨学金を導入すべきではないか。浅川町奨学資金は他の奨学金との併給が禁止されており、利用者が少ない。これは卒業と同時に多額の借金を背負うことがないようにという配慮かと思うが、大學生で月3万5千円程度ではとても足りない。給付型を導入すれば他の奨学金との併給も可能になり、利用が増え

と思うがどうか。

教育長 町奨学金の活用状況については、令和2年度が申請2件、決定2件、3年度と4年度は申請がなく、5年度が申請1件、決定1件だった。町奨学資金が給付型になれば併給も可能であると考えている。今後さらに借りやすい町の奨学資金になるよう検討してまいります。

生産費制度を保障する 米価制度を国に求めよ



角田 勝議員

米作りは町の基幹産業 国に要望する

問 日本農業を守る柱の米作りが超安値で生産費にもならず衰退の一途となっている。そのことは農地を荒廃させ、地方がさびれていくもとである。欧米など先進国は主食などの農畜産物に価格補償制度を作り農業を守っている。ロシアのウクライナ侵攻で世界的に食糧不足が生まれている。食料自給率37%などという先進国は日本だけだ。今の農政では農民は食べていけない。生産費に見合った保障制度を作ることが求められている。町長の認識と実現の努力を伺う。



町長 米作りは浅川町にとっても大事な基幹産業の一つである。農業を守る政策を進めるよう引き続き国に要望し、町としても今後も本町で農業が継続できるように支援を行ってきたい。また、農家の収入が安定するためには儲かる農業の実現が重要であり、高く売れるコムや野菜を作り出すことが必要と考えている。

問 町長は健康で長生きできる町づくりを公約しているが、年齢とともに耳が聞こえなくなってくる方が多くなっている。耳が聞こえなくなると老人の認知症になりやすくなること

が証明されている。国や県も対策を講じつつあり、障害者と認められれば補助金もできるが、厳しい審査も必要となっている。補聴器は高く買えないのが実情だ。一定の診査認定をすれば難聴者に補助する制度を作り実施すべきではないか。また、西郷村など県内の実施状況はどのようになっているか。

町長 現在、県内で高齢者の難聴者への補聴器購入補助金交付事業を実施しているのは西

補聴器購入に補助制度を作るべきでは

国、県、近隣市町村の動向 注視し検討したい

郷村のみである。難聴と認知機能低下との関連は多くの疫学研究で示されており、補聴器の使用が認知機能低下を抑制するとの研究報告もみられる。加齢に伴う難聴には個人差があり、誰にでも起こる可能性がある。今後は医療保険適用にするなど国による公的支援などが必要であると考えられる。町単独の助成制度については、国、県、近隣市町村の動向を注視し、今後も慎重に検討したい。

学校給食費無料化実施を

令和5年度から
無料化実施



令和4年12月定例会

答

給食の無料については、その必要性を感じている。令和5年度の当初予算編成にあたって補助金等の見直しを進めながら財源確保に努め、令和5年度から無料化を実施する方向で努力する。

問

令和4年の9月議会でも前回きに検討すると答弁し、今度の町長選でも公約した。ほとんどの町民は乗行されると注目している。予備とするなら浅川町でと言われる町づくりを目指している。来年度より実施する考えは。

送迎バスに置き忘れ対策を

こども園送迎バス2台（6月）
小中学校送迎バス8台（10月）
設置済



最後部のボタンを押さないと、設定時間を過ぎるとクラクションがなります

答

国土交通省より示されたガイドラインに基づき、設置の手続きを進めており、6月末までに幼稚園送迎バスに設置が完了する予定である。

問

園児送迎バスによる車内への置き忘れ事故対策の所在確認や安全装置の装備義務化に對する町の対応は。

— お願い —
古里の写真をお持ちの方は、ぜひご
連絡下さい。誌上で紹介させていた
だきます。

浅川町議会事務局 36-1182



昭和56年 太田輪橋梁竣工祭 親子3代渡り初め／役場保管



昭和50年代頃 町民運動会にお祭りの山車が参加／役場保管

町民の声

若手農業者に 手厚い補助を

若手専業農家

八木沼 修さん

ここ数年、気候が急激に変わってきているため、全国的に作物への影響が出ているのが現状です。私たち農家は、決められたマニユアルが無いと、天候によって左右されることが多々あります。そんな時は農協で農協担当

小貫地区で新規就農を受けてから6年目を迎えました。

私は、会社員として働きながら、両親がやっている農業を手伝っていましたが、平成30年に会社を辞め、専業農家として、両親、私、妻の4人で新たな一歩を踏み出しました。

今年度の作付けとしては、春のブロッコリーが160畝、葉タバコが145畝、水稲が167畝、秋のブロッコリーが60畝、そして新規就農作物としてレイシ(ゴトヤ)を5畝作付けしました。



八木沼修、友江さんご夫妻

者の方にご協力を頂きながら、作付けをしています。

また近年は、物価高騰による肥料や資材の値上げで、大きな打撃を受けています。さらに高齢化で離農する人が多いと、浅川町としても若手農業者に手厚い補助をお願いします。これからも地元の方々の力をお借りしながら、家族一丸となって、農業を頑張りたいと思います。

編集後記

新たな広報特別委員会による、新たな気持ちでの議会だよりの発行となりました。

議会内容等、皆様にわかりやすくお知らせしたいと思っています。今後4年間よろしくお願いたします。

会 田 哲 男

広報特別委員会／委員長 会田 哲男
副委員長 富永 勉
委員 上野 信直
兼 菅野 朝一
須藤 孝夫

